

知覚動考

「誰一人取り残さない 子供が育つ学校づくり」

寒河江市立南部小学校
校長室だより
校長 白田 敏幸

スマートフォンとの上手な付き合い方

❁ はじめに

近年、スマートフォンを持つ小学生が増え、それに伴い、SNS を通じたトラブルも見られるようになってきました。便利な道具である一方、使い方を誤ると子供どうしの関係や心に大きな影響を及ぼすことがあります。今回は、「**スマートフォンを持つこと**の責任」について改めて考えるきっかけとして、このおたよりをお届けします。

🗨️ 学校で起きていること

最近、SNS 上での誤解や感情的なやりとりから、友人関係がぎくしゃくする事例が増えています。これらのトラブルは、学校生活に影響を与えることも少なくありません。

「友だちがグループ LINE から外した」「SNS で悪口を書かれた」このような相談が、学校に寄せられることがあります。スマートフォンを介して見えない場所で起きている問題は、**子供たちだけでは対応が難しく大人のサポートが必要**です。

👤 スマートフォンを「持たせる」大人の責任

スマートフォンの所持は「情報社会に触れる」という意味でも、大人のサポートが欠かせません。子供にスマートフォンを持たせることは、「ネット上での言葉の責任」や「他者との距離感の調整」など、**大人でも難しい課題と向き合う**こととなります。

以前、警察官の方から、「**子供にスマートフォンをもたせるということは、無免許の人に車を運転させるのと同じことです。**」という話を聞きました。今や、スマートフォンは、便利な道具であると同時に、**言葉で人を傷つけたり、一歩間違えば、命を奪ってしまうこと**もできてしまいます。そういった意味でも、子供にスマートフォンを持たせるときには、大人として、**「持たせる責任」**をしっかりとつ必要があると考えます。スマートフォンもつということは、“自由”と同時に“責任”を伴います。

💡 トラブルへの対応はどうすべきか

SNS のやりとりによって発生するトラブルは、**家庭内での見守りや保護者間の話し合い**が、円満な解決につながるケースも多くあります。もちろん、学校でも状況把握や必要に応じた配慮は行いますが、**基本的にはご家庭（または、ご家庭どうし）での対話や対応がより効果的**です。【さらに、**現段階の学校の状況（放課後の担任の業務量が非常に多い現実）**を考えると、**学校で解決する時間を取ることが厳しく**なってきております。ご理解・ご協力をよろしく願います。】

👨👩👧 学校と家庭で協力しながら

学校では、子供たちが安心して過ごせる環境づくりを進めています。ご家庭でも、「スマートフォンは便利だけれど、**使い方を間違えると相手を傷つけることがある**」ということ、ぜひお子さんと一緒に考える機会をもっていただければと思います。

